



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2024年5月12日(日) 9:30~12:00 (曇/小雨)

参加者 一般：4名

指導員：4名

テーマ 外来種を観察してみよう

五月晴とはなりませんでしたが、「目に青葉」の季節で、クスノキの花のさわやかな香りが漂う中を歩きました。

テーマは「外来種」ですが、数日前に堤防の草刈りが行われ、ここに多く生えるヒサウチソウの姿は見られませんでした。(おそらく来月には伸びて花をつけているでしょう。)それでも公園などではオオキンケイギク、オオカワチシャ、オオフサモといった特定外来植物をはじめ多くの外来種が確認されました。

外来種ではありませんが、集合場所近くでヒメヨツバムグラを観察しました。アカネ科の小さな植物で目立ちません。よく似たホソバヨツバムグラは花が3裂で、本種は4裂なので見分けられます。「ヨツバ」の名のように葉は4枚が輪生しているように見えますが、葉は2枚で対生し、他の2枚は托葉です。

川原ではセンダンの花の構造をじっくり見ました。その近くに準絶滅危惧種のみぞこウヅユカ数株、花をつけていました。今までここでは見ていない植物ですが、上流から種が流されてきて発芽したものでしょうか。

先月までたくさんの花をつけていたミヤマウグイスカグラは赤い実となっていました。何故かその数は多くありませんでした。

風があり時折小雨が降る天気で昆虫は多くは飛びませんでしたが、ちょっと変わった形のカバイロトガリメイガやモモスズメをじっくり観察できました。

また、ここでよく出会う知人が、間もなく巣立ちしそうな雛がいるコゲラの巣に案内してくれました。

先月見たオオタカの巣の近くで姿も声も確認できませんでしたが、無事に営巣が続いているとのことでした。

(報告：齋竹)

<その他観察できたもの>

花：(外来種) ブタナ、ヒメブタナ、ハルジオン、ヒメジョオン、ウラジロチチコグサ、イヌコモチナデシコ、シロバナマンテマ、キキョウソウ、ヤセウツボ、コメツブツメクサ、シロツメクサ、ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、ツボミオオバコ、ヘラオオバコ、コマツヨイグサ、オッタチカタバミ、(在来種)ニホンタンポポ、コウゾリナ、チチコグサ、ノミノツツリ、ヒナギキョウ、オヘビイチゴ、エビツル

鳥：ツバメ、トビ、キジバト、ダイサギ、ヒヨドリ、スズメ、メジロ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ウグイス(声)、オオヨシキリ(声)、キジ(声)、キビタキ(声)

虫：モンシロチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、コムスジ、シオカラトンボ、オオスズメバチ、クロツヤクシコメツキ



(川原で咲いていたミゾコウジュの花を観察)



葉は2枚のヒメヨツバムグラ



ここでは初めてのミゾコウジュ



姿が面白いカバイロトガリメイガ



ヒナが顎を出したコゲラの巣